

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいています。心から感謝申し上げます。この「つながり」を大切にしていきたいと思えます。被災地では、地元住民との話し合い等を行いながら、市町村ごとのまちづくり計画の策定が進んでいます。復興に向けて歩んでいる岩手の今を御紹介します。

【「復興道路」着工式 ～尾肝要道路（田野畑村）～】



11月20日、田野畑村において、「復興道路」の着工式が行われました。

式典には、国や県、地元関係者が出席し、主催者を代表して達増知事から「復興道路は東日本大震災津波からの復興をけん引する基幹事業として、大きな期待を寄せているところ。このたびの工事着手は、全線開通の早期実現に向けた大きな一歩」と挨拶しました。

また、会場では、震災直前の3月5日に部分開通した三陸縦貫自動車道「釜石山田道路」を避難路として、まさに「命の道」として利用した鶴住居小学校、釜石東中学校の子供たちからのビデオレターが紹介されました。

最後に関係者によるくわ入れ、トンネルの掘削が開始され、「復興道路」の整備がスタートしました。

>>>詳しくは

<http://www.pref.iwate.jp/download.rbz?cmd=50&cd=35425&tg=7>

【ありがとう！頑張ってます！】

復興へゆっくりと力強く「SLがんばろう岩手号」

11月19日、震災からの復興を応援しようと、C61形蒸気機関車「SLがんばろう岩手号」がJR東北線一ノ関駅～北上駅間を走りました。

約400人を乗せたSLは大きく汽笛を鳴らして一ノ関駅を出発。



一ノ関駅で出発を待つ「SLがんばろう岩手号」

乗客や、沿線で一目見ようと駆け付けた市民やアマチュアカメラマンは、白煙を上げながらゆっくりと力強く進むSLの雄姿に、元気をもらい、復興へ向けて歩む「岩手」の姿を重ね合わせました。

【宮古市・牡蠣復活へともに歩む】

宮古市で20年以上、牡蠣養殖を続けてきた飛鳥方克吉（あすかた・かつよし）さん、48歳。3月の震災で、牡蠣の養殖イカダ約170台がすべて流され、生活の糧を奪われました。現在、家族4人で仮設住宅に暮らしています。

自力での養殖業再開が困難な中、新たにスタートしたのがオーナー制（※）の取組み。漁協や県がサポートし、約20人の漁家が参加しています。

11月上旬、牡蠣の漁場見学会。震災後に養殖牡蠣のオーナーとなった40人が全国から招かれました。



飛鳥方さん「ひと事じゃなく、オーナー証にも励ましの手紙とか入れてもらったりして、これから先、頑張っていこうという力にはなりましたね。賛同してくれたオーナーさんと共に、出来た牡蠣と一緒に喜びたいと思っています。」

※養殖業漁家の再開資金確保のため、全国からオーナーを募集。来春には一年ものの牡蠣をオーナーに届ける予定。

>>>詳しくは（パツナパ）… <http://goo.gl/ZHKcX>

県政番組「いわて希望のちから」

第25回～牡蠣復活へともに歩む～

(11月21、22、24、27日放送)



皆様のご支援、ありがとうございます。

- ★義援金受付状況（10月31日現在）
約162億9,527万円（71,327件）
- ★寄付金受付状況（10月31日現在）
約59億8,784万円（4,265件）
- ★いわての学び希望基金受付状況（11月15日現在）
約21億6,600万円（3,372件）

>>>義援金・寄付金の募集

<http://www.pref.iwate.jp/~bousai/jyuhou/volunteer.html>

岩手県の被害状況（11月30日現在）

- 人的被害 死者：4,665名
行方不明者：1,409名
- 建物被害(住家のみ、全半壊)：24,735棟

【平成 23 年度 12 月補正予算案を発表 ～ 引き続き復旧・復興を進めます！ ～】

県は、東日本大震災津波からの復旧・復興に向けた 12 月補正予算案を発表しました。11 月 30 日に招集された県議会 12 月定例会で審議されます。

補正予算案の主な事業は右表のとおりです。

また、今回の補正予算では、復興事業に要する経費の財源に充てるための「東日本大震災津波復興基金」を作ります。この基金を財源に、今後、市町村へ交付金を交付するほか、県事業では、被災住宅復旧支援や地域コミュニティ再生、商店街活性化などの幅広い分野で、きめ細かな対応が必要な事業を行う予定です。

引き続き「安全の確保」「暮らしの再建」「なりわいの再生」の取り組みを進めていきます。

東日本大震災津波関連補正予算案の主な事業

事業	予算額	主な内容
東日本大震災津波復興基金積立金	500 億円	被災地の様々なニーズに対しきめ細やかな対応を図るため創設する基金への積立
防災情報通信設備災害復旧事業費	31 億 9,700 万円	被災した防災行政情報通信ネットワークシステムの復旧を実施
生活再建住宅支援事業費	6 億 2,800 万円	災害救助法等の適用外となる住宅の補修費を助成
被災地こころのケア対策事業費	2 億 7,500 万円	県内 5 か所に「こころのケアセンター」を設置
さけ、ます種苗生産施設等復興支援事業費補助	23 億 6,400 万円	効率的なサケ稚魚の生産体制の構築を図るため、サケふ化場の本格復旧を実施
廃用牛出荷滞留対策事業費	1,300 万円	出荷が滞留している廃用牛の一時受け入れを実施

>>>詳しくは … <http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=2974&of=1&k=1&np=2974&cd=35810>

首都圏で開かれるイベントです。ぜひご来場ください。

開催期間	イベント名	場所	内容
12 月 8 日(木) ～ 12 月 10 日(土)	岩手産直市	JR上野駅中央改札 グランドコンコース (東京都台東区・上野)	岩手の特産品の販売や観光PRを行います。
12 月 11 日(日) ～ 12 月 13 日(火)	釜石物産フェア	いわて銀河プラザ (東京都中央区・東銀座) TEL 03-3524-8282	釜石の物産の試食販売を行います。

>>>その他の復興支援イベントはこちらから … <http://goo.gl/g7bMk>

7千人が来場

【『秋の大応援物産フェア』を丸ビルで開催しました】

11 月 5 日、東京・丸ビルにて『秋の大応援物産フェア』が開催され、岩手の特産品販売や観光PRなどが行われました。ステージでは、大槌町の「向川原虎舞」や北上市の「上宿和賀神楽」が披露され、会場を盛り上げました。また、今回は震災復興写真展も同時開催。被災地の震災前後、そして復興へ向かう現在の様子をお伝えしました。

今回新たに、「東京から元気を！被災地復興応援フェスタ」の開催が決定！12 月 19 日から 21 日まで、東京国際フォーラムにて開催されます。岩手・宮城・福島の物産販売や観光PR、ステージイベントなど、盛りだくさんの内容をご用意。また、今回も震災復興写真展を同時開催します。ご来場お待ちしております！



“うにっち”も物産フェア会場を盛り上げました



震災復興写真展の様子

【東京から元気を！被災地復興応援フェスタ】

- 日時：
12 月 19 日(月) 12:00～19:00
12 月 20 日(火) 11:00～19:00
12 月 21 日(水) 11:00～18:00
- 会場：
東京国際フォーラム
地下 2 階 展示ホール 2
- 主催：東京都
- 内容：
・特産品や伝統工芸品の販売
・観光PR (各県ご当地キャラ登場)
・ステージイベント (さんさ踊りなど)
・震災復興写真展
・復興支援セミナー など

郷土おにぎりを日替わりで毎日 300 名様に！
(岩手は 20 日、「ふきみそおにぎり」)



>>>イベントの詳細はこちらから
<http://fukko-festa.jp/index.html>



いわて復興だより 第 10 号 平成 23 年 12 月 1 日
発行：岩手県復興局総務課 ☎ 019-629-6918 ✉ AJ0001@pref.iwate.jp
◆復興だよりバックナンバーはこちらから → <http://bit.ly/qBFB0z>